

ジャポニスム振興会 東京サロン

東京サロンではシリーズ“日本文化の神髄”講座や会員交流会などを開催して参ります。
会員登録の上、ご参加いただければ幸いです。

■シリーズ“江戸の粋”～江戸職人の手わざ

江戸文化を支えて来た伝統工芸の職人の手わざを学ぶことは日本独自文化を知り、そのよさを感じ取ることによって日本の未来を築いていくことに繋がります。

各界第一人者によるお話と伝統の技の一端を体感するワークショップで繊細で洗練された伝統工芸の世界に近づきます。毎回のワークショップではその技を体験頂き、作品をお持ち帰りいただきます。



<日程と内容>

第1回 2月21日(土) 14-17時

「墨流し染～唯一無二の染めにふれる」高橋孝之(伝統工芸士)・お話と「My墨流しハンカチづくり」

第2回 3月14日(土) 14-17時

「浮世絵～江戸木版画の世界」高橋由貴子・お話と摺り体験「祝儀袋づくり」

第3回 4月18日(土) 14-17時

「桐箆笥～江戸木工芸の技」飯島 勤(伝統工芸士)・お話と「My文箱づくり」

(注:つけ爪、長爪の方は作業が難しいこと、ご承知下さい)



<開催場所> ジャポニスム振興会 東京サロン TEL:03-6272-4561
東京都千代田区麹町2-2-1 オーセンティック半蔵門6F

<会費・募集人員>

・会費	会員 2,000円、	一般 3,000円、	学生 1,000円
・材料費	第1回 1,000円、	第2回 1,000円、	第3回 1,500円
・人数	各回 20名		



■■高橋孝之Profile

江戸手描友禅 伝統工芸士

東京手描き友禅伝統工芸士会会長、東京都伝統工芸士会理事、日本染織作家協会理事、東京都工芸染色協同組合相談役、「染の高孝」代表。受賞歴は1985年以来、日本染織作家展では日経奨励賞、三越賞、京都市長賞始め多数。

【講師からひと言】墨流し染めは、千年ほど前に日本で発祥したといわれており、貴族の間で遊戯の一つとして始まりました。紙から布へと発展し着物を染めるようになったのは、わずか百年ほど前からです。顔料に浮力を持たせ、水面に波紋状の模様を幾重にも描き、これを布に転写して染め上げます。自然と変化していく模様の面白さ、布へと一瞬に現れる柄、不思議な染めの魅力をお教え致します。



■■高橋由貴子Profile

江戸木版画 高橋工房六代目

東京伝統木版画工芸協同組合理事長、無形文化財選定保存技術浮世絵木版画彫摺技術保存協会副理事長、NPO法人伝統木版画ルネサンス理事長。2004年文京区伝統工芸功労者賞、12年東久邇宮文化褒賞受賞始め多数。

【講師からひと言】江戸庶民の文化情報誌として生まれた浮世絵版画。

19世紀のヨーロッパ印象派の画家達を魅了したその美しい色彩と斬新な構図は錦絵とも呼ばれ今尚昔ながらの制法で傳承されています。その技法の一端を材料、道具、浮世絵版画を用いて職人の観点からお話させていただきます。江戸時代にタイムスリップし、五感で作品を楽しむのも乙なもの、彫師、摺師の心意気が伝わってきます。



■■飯島勤Profile

春日部桐箆笥 伝統工芸士

春日部桐箆笥産業活性化協議会副代表、元日本伝統工芸士会木竹部会副会長。2011年関東伝統工芸士会コンクール伝統的産業振興協会理事長賞受賞、13年伝統的工芸品産業大賞準グランプリ受賞始め多数。

【講師からひと言】

昔から物を保存するには「桐」が最適と言われております。桐箆笥作りの基本技術であるホゾ組、木釘止を体験しながら「桐文箱」をつくり、初めての方でも楽しみながら体験いただける様に体験キットをご用意しています。体験を通して「桐の不思議」を知っていただければ幸いです。

お申し込み
お問い合わせ

ジャポニスム振興会
東京サロン

TEL / FAX. 03-6272-4561 tokyo-j@japonisme.or.jp

